



「超促成栽培」で成長を早めたイチゴを収穫する上山社長。藤枝市のジャパン・ベリー

超促成イチゴ、出来上々 藤枝の農園

藤枝市青南町のイチゴ農園「ジャパン・ベリー」は7日、ハウスで栽培した本県オリジナル品種「きらび香」を初収穫した。昨期から株元を冷やす超促成栽培に本格的に取り組んでいて、他産地より2カ月ほど早い収穫が可能になった。

初収穫は約10時。夏場に猛暑日が多かったことなどが影響し、昨年より1週間ほど遅い。スイーツ店やカフェなどを中心に出荷する。

上山優社長は「成長を早め

「きらび香」2カ月早く収穫

超促成栽培は、株元に配置した管に冷水を流すなどして成長を早める技術。同園には国内最大級の計2・6畝のハウスがあり、そのうち約40畝の範囲で導入している。需要の最盛期であるクリスマスや正月に合わせ、2回目の収穫ができるという。

るためにどうしても実は小さくなるが、甘みと酸味のバランスが良い。出来は上々」と笑顔を見せる。気温が下がるにつれ、実が大きくなり、甘みも増すという。

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①記事のイチゴの品種は何ですか。 ()
- ②イチゴの需要の最盛期はいつですか。 ()
- ③「超促成栽培」で、イチゴは他の産地よりどのくらい早く収穫することが可能になりましたか。 ()
- ④「超促成栽培」では、イチゴの成長を早めるためにどのような工夫をしていますか。 ()
- ⑤他産地よりも早くイチゴを出荷することは、イチゴ農園にとってどのような良い点が考えられますか。理由も含めて、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏
(小学校高学年～中学校／社会、理科、総合)

年 組 名前



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

解答例



2022年 10月9日朝刊中部版

イチゴを収穫する上山社長。超促成栽培で成長を早めた

＝藤枝市のジャパン・ベリー



超促成イチゴ、出来上々

藤枝の農園

上山優社長は「成長を早める中心に出荷する。スイーツ店やカフェなど

藤枝市青南町のイチゴ農園「ジャパン・ベリー」は7日、ハウスで栽培した本県オリジナル品種「きらび香」を初収穫した。昨期から株元を冷やす超促成栽培に本格的に取り組んでいて、他産地より2カ月ほど早い収穫が可能になった。

「きらび香」2カ月早く収穫

超促成栽培は、株元に配置した管に冷水を流すなどして成長を早める技術。同園には国内最大級の計2・6畝のハウスがあり、そのうち約40畝の範囲で導入している。需要の最盛期であるクリスマスや正月に合わせ、2回目の収穫ができるという。

初収穫は約10㍏。夏場に猛暑日が多かったことなどが影響し、昨年より1週間ほど遅い。スイーツ店やカフェなどを中心に出荷する。

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①記事のイチゴの品種は何ですか。 (**きらび香**)
- ②イチゴの需要の最盛期はいつですか。 (**クリスマスや正月**)
- ③「超促成栽培」で、イチゴは他の産地よりどのくらい早く収穫することが可能になりましたか。 (**2カ月ほど**)
- ④「超促成栽培」では、イチゴの成長を早めるためにどのような工夫をしていますか。 (**(イチゴの)株元に配置した管に冷水を流すなどの工夫。**)
- ⑤他産地よりも早くイチゴを出荷することは、イチゴ農園にとってどのような良い点が考えられますか。理由も含めて、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

収穫したイチゴの量がまだ少ないために価格が上がるという点。(29字)

イチゴがまだ少なく貴重なため、スイーツ店やカフェで喜ばれる。(30字)

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、理科、総合)

年 組 名前